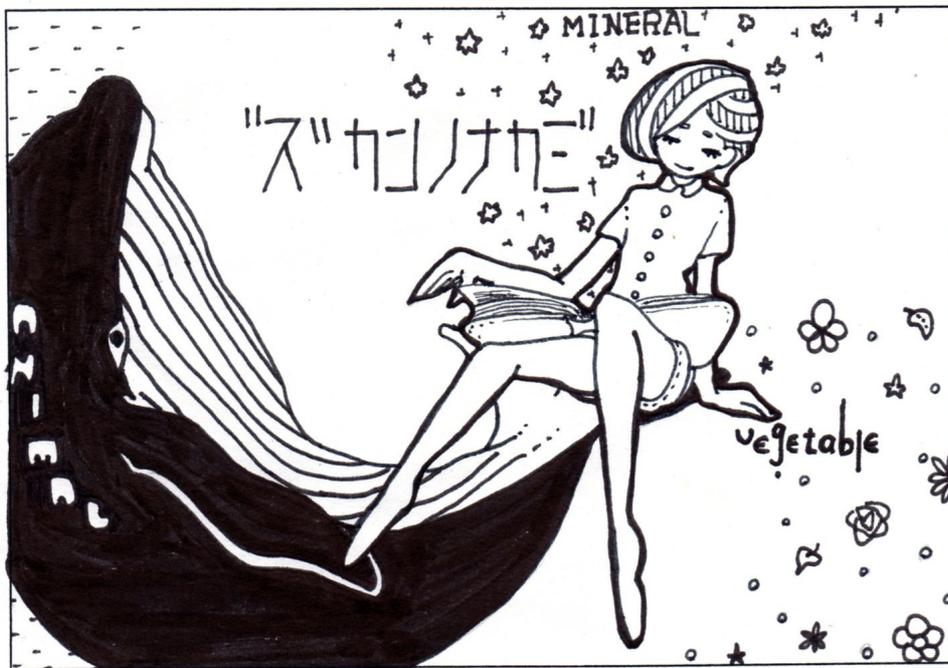


☆投稿紹介☆
みなさんが投稿してくれたものを紹介します

〔イラスト作品〕 amk さん の作品

amkさん、ステキな作品
ありがとうございます。
Ⓜ



匿名①さんの要望

：『黒子のバスケ』のマンガか小説をおいてほしい。」

〔回答〕

匿名さん、ご要望ありがとうございます。

『黒子のバスケ』の小説は、実はすでに図書館に入っています。本館の若葉のコーナーにあるのですが、やはり人気が高く、貸出になっていることが多いようです。匿名さんがお探しのときも、貸出中になっていたのかもしれませんが。貸出中のときには、予約をしておくことができますので、カウンターへお申し出ください。

また、2巻と3巻をあらたに購入しましたので、どうぞ、ご利用ください。

ちなみに、マンガは右の理由により入れることができませんので、ご了承ください。

匿名②さんの要望

「AKB0048のマンガをいれてほしい。」

〔回答〕

塩尻市立図書館では、書店さんの利益を奪うことがないように、マンガの購入は慎重におこなっています。

幅広い年代に読まれているものかどうか、長い間読み継がれているものかどうか、などを判断基準として、図書館に置かかを決めています。そのため、マンガのリクエストをいただいた場合でも、お断りさせていただくことがほとんどなのが現状です。

今回、要望をいただいたマンガも、基準をみたしているという判断ができないため、要望にお応えすることができない本となっています。

申し訳ありませんが、ご理解をお願いいたします。

特集：冬を楽しもう♪

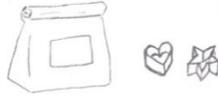
1月から3月、冬を楽しむために、こんな本はいかがですか？！



『男のファッション基本講座』
成美堂出版(2008)



『黒崎えり子の特別な日のおとなネイル』
黒崎えり子(2008)
宝島社



『振袖の華やか帯結び100選』
(2009)世界文化社



『スキンケア★STUDY』
毎日新聞社(2011)
毎日新聞社

『簡単! 可愛い! 手作りDeco チョコ』
ほりえさわか(2009)
永岡書店



卒業式



『自分のできるヘアアレンジ』
池田書店編集部
(2009)池田書店



『Cute Photographer』
(2008)翔詠社



『恋愛上手のメール術』
如月音流(2008)
ソニー・マガジン



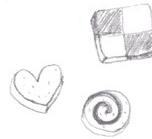
『恋するメイク』
濱田マサル(2009)
講談社



『感動キラ☆心にのこる卒業式のうた』
(2008)
全音楽譜出版社



『大人で可愛いナチュラルヘアアレンジ』
(2011)主婦の友



『気持ち伝えるちょこっとイラスト』
Yuzuko
(2008)小学館



ウィンタースポーツ



『スノーボード上達のコツ50』(2008)
メイツ出版



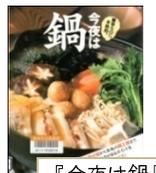
『もっと深く知りたい! フィギュアスケート』
(2007)東邦出版



食べ物



『友チョコ、ラブチョコ ちょこっとチョコ!』
ほりえさわか(2009)
永岡書店



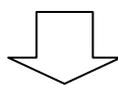
『今夜は鍋』
(2007)
日本文芸社

図書館の知識

今まで図書館を利用してきていた方にも、まだ利用したことがないという方にも、みなさんが知っているようで知らない図書館の使い方を紹介します。

図書館のちょっと得する使い方をマスターしてみてください。

Q、データベースって耳にするけど、どんなもの？



「大量の情報を使いやすいように整理したもの」です。

塩尻市立図書館には、みなさんが無料で使うことができる商用データベースというのがあります。データベースは、バラバラになっている莫大なデータを、整理・加工して使いやすい情報にまとめたものです。調べものをしたり、情報を手に入れたりするときにとっても役に立つものです。

インターネットで調べる場合は、なかなか一回で目的の情報が出てこなかったり、どれがほしい情報なのかわからなかったりしますが、それを解消してくれるのが、データベースなのです。

☆お仕事ナビ☆

今回の職業は 研究職 です。

ナビゲーターは・・・

製造会社で働いている

Fuumchan さんです。

1. どんなことをしているのか、仕事の内容を教えてください。

製造会社の研究室で、新製品の開発をしています。毎日、化学実験をして、結果の考察と評価をして、新しい製品を世の中に生み出す仕事です。

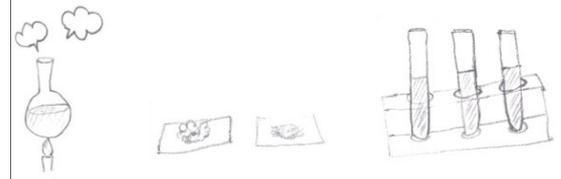
2. 研究職の仕事に就いたきっかけや、なりたかった理由を教えてください。

高校を卒業し、就職した配属先が研究室でした。はじめから「研究職」という仕事を狙っていたわけではありませんでしたが、仕事をはじめてみると、とても楽しい仕事でした。

3. やりがいを感じたり、楽しい・うれしいと思ったりするのはどんなときですか。

「こういう製品を作り出したい」という物を決めて、実験を繰り返すのですが、失敗することが多いです。ですが、作り出したいものが出来上がった時や、自分の手がけたものが形になった時には、とても嬉しく思います。

将来の職業選択の参考になるように、さまざまな職業につく身近な人たちを紹介していきます。



4. 中高生のとき好きだった本やよく読んでいた本、熱中していたことなど教えてください。

椎名誠さんの本をよく読みました。「怪しい探検隊シリーズ」は普通の旅行では経験できない、おかしな体験談が書かれていて、それを読みながら「自分にもできるんじゃないか?!」と探検に出かけたくなくなっていました。

5. 研究職の仕事をめざす中高生に、メッセージやアドバイスをお願いします。

「こうなりたい」が決まっていれば、失敗を繰り返しても、その中には必ず結果があります。好む結果ではなくても、「じゃあ、次は何をする?」をいつでも自分で考えていると、失敗は宝になります。たくさん失敗して、宝物を増やしていきましょう。

研究員の仕事についてのっている本です。参考にどうぞ。

松井大助(2012).『会社のしごと つくるしごと』ペリかん社
——(2009).『18歳のハローワーク』ゴマブックス

【番外編】

中村修二(2004).『大好きなことを「仕事」にしよう』ワニブックス

ここからは塩尻市立図書館にあるデータベースを紹介します。(2013年1月現在)

- ① 信濃毎日新聞統合データベース
信濃毎日新聞の過去の記事を探すことができます。
- ② 間蔵Ⅱビジュアル
朝日新聞の過去の記事を探すことができます。
- ③ 日経テレコン21
日経各紙の記事や国内外の企業情報、その他色々なビジネスに役立つ最新の情報を調べることができます。

- ④ 第一法規現行法規(履歴検索)
法律の移り変わりを調べることができます。
- ⑤ NICHIGAI/WEB サービス MAGAZINPLUS
雑誌の検索ができます。
- ⑥ ジャパンナレッジプラス
百科事典や辞書をまとめて一気に検索することができます。

データベースは便利なものですが、高額の使用料が必要なため、家庭ではなかなか使うことができないと思います。なので、必要になったときには、ぜひ利用してみてください。

♪ご案内♪

1月から3月までの期間、若葉のコーナーでは、「この人に学べ」のテーマブックをおこなっています。スポーツ界やビジネス界、芸能界、芸術分野、研究分野など、各界で活躍している人たちが書いた本や、その人たちについて書かれた本を集めて置いています。

ぜひこの機会に一読を!!

☆縁パークしおじり☆

みなさんに塩尻に関することや、塩尻に縁のある人を紹介していきます。

今回のテーマ

「塩尻市にゆかりのある歌人」

みなさんは、塩尻市は短歌の里といわれていることをご存知でしょうか？！塩尻市の広丘には、全国的に珍しい、市で運営する短歌館があり、全国短歌フォーラムや百人一首大会といった短歌のイベントが行われています。

そこで、今回は塩尻市にゆかりのある歌人について紹介します。

若山喜志子

(わかやま きしこ)1888年広丘村(現塩尻市)で生まれる。小学生時代、先生の影響で文学に関心をよせはじめ、一緒に太田水穂らと親交を深めた。その後、島木赤彦の下、教師を務めるが、やがて太田水穂を頼り上京する。若山牧水と結婚し、牧水が亡くなった後、歌誌『創作』を継いだ。

若山牧水

(わかやま ぼくすい)1885年宮崎県に生まれる。1911年創作社を創り、詩歌雑誌『創作』を創刊。太田水穂を頼って長野から上京していた太田喜志子と出会い結婚。旅と酒を愛した牧水は、佐久ホテルに滞在し数々の作品を残した。その後、詩歌総合雑誌『詩歌時代』も創刊している。



図書館には短歌の本や関連本を集めた「短歌コーナー」があるんだよ！！

太田水穂

(おおた みずほ)1876年広丘村で生まれ、詩歌に興味を持ち文芸雑誌への投稿をはじめ。教師を務めながら、窪田空穂らと和歌同好会「この花会」を結成する。1909年には「この花会」の会員の四賀光子と結婚。1915年には歌誌『潮音』を創刊し、歌人、研究者として歩んだ。

四賀光子

(しが みつこ)1885年長野市に生まれる。松本で教師を務めているとき、太田水穂と出会い、作家活動をはじめ。「この花会」に参加し、のちの1909年、水穂と結婚する。はじめは若山牧水が主宰の歌誌『創作』に歌を発表するが、『潮音』創刊とともに同人となる。

島木赤彦

(しまき あかひこ)1876年上諏訪村に生まれる。教師と歌人の2つの面をもち、広丘小学校長をしながら、熱心に青年歌人の育成に努め、広丘アララギ短歌会をつくっていく。その後も『アララギ』の発行に専念し、斎藤茂吉や中村憲吉らと親交を深めた。代表作に「馬鈴薯の花」などがある。

太田青丘

(おおた せいきゅう)1909年太田水穂の兄の三男として広丘村で生まれ、水穂と四賀光子の養子となる。1928年『潮音』に入会し、水穂が亡くなった1955年からは、編集・発行を行い1965年には代表者となり『潮音』を引き継ぐ。また、漢文学者として、大学で中国文学を教えている。

窪田空穂

(くぼた うつぼ)1877年和田村に生まれる。代用教員として働く中で、校長の影響で作歌をはじめ、『明星』に投稿する。与謝野鉄幹の勧めもあり、本格的に『明星』へ参加する。上京すると、太田水穂や吉江喬松(孤雁)、中沢臨川、三津木春影ら県出身者グループと親交を深め同人誌をつくる。

潮みどり

(うしお みどり)1897年広丘村生まれる。姉である若山喜志子の影響で歌を詠むようになる。高校を卒業後、姉を頼って上京し、家事手伝いのかたわら、『創作』や『潮音』に投稿を重ねる。『創作』の有力メンバー、長谷川銀作と結婚するが、結核にかかり31歳の若さで亡くなった。

吉江孤雁

(よしえ こがん)1880年塩尻町長敷に生まれる。中学生の頃から文学に興味をもち、孤雁の号を用いて創作していた。早稲田大学教授となり、後の1916年フランスへ留学を果たす。フランス文学研究家、評論家として幅広く活躍した。西条八十、井伏鱒二、日夏耿之介などは教え子であった。

<参考図書>

塩尻市誌編纂委員会(1992).
『塩尻市誌第3巻近代・現代』塩尻市誌
塩尻市HP(短歌に出会えるまち 塩尻)
<http://www.city.shiojiri.nagano.jp/tan-kakan/index.html>

☆ごあいさつ☆

今年も新しい年が始まりました。2013年はどんな一年になるのでしょうか。新年が明けて、新たな目標を持った人も多いのではないのでしょうか。私も、「規則正しい生活をする」という毎年立てている目標を、今年こそ実行するぞ、と改めて胸にきざみ込みました。

冬本番はこれからです。みなさん風邪をひかないよう注意してください。そして、受験生のみなさんはくいの残らないよう、精一杯頑張ってくださいね。健闘をお祈りします・・・。(中村)

